

いじめをなくすには (9年)



ゆうしゅうしょう
優秀賞

僕は毎日学校が楽しいです。授業は難しくて嫌になることもありますが、それ以上に休み時間に友だちと話したり、ふざけたりすることが楽しくて、その時間が大好きだからです。しかし、僕は最近とある言葉が常に頭の片隅に存在しています。それは、「いじめ」という言葉です。以前までの僕は、「いじめ」という言葉はテレビや新聞などでよく見かけるけれど、僕や僕の周りの友だちには関係のない言葉だと、気にも留めていませんでした。しかし、そんな僕の浅はかな考えを変えるような出来事が起こったのです。

今年の春休み、僕はついに受験生になってしまうのかと少し憂鬱な気分でごしていました。もう遊んでばかりはいられないという現実に関心を痛めていたのです。僕には2歳年上の姉がいるので、姉はどのように過ごしていたのか気になり聞きにいこうとしました。そして、その時僕はふと、姉が今の僕と同じ中学3年生のときに、「いじめゼロ子どもサミット」に参加していたことを思い出しました。僕は、なぜ受験勉強で大変な時期にわざわざサミットに参加したのか意味が分かりませんでした。そこで、姉のところへわけを尋ねにいったのです。すると、姉は当時の心境や講演の内容についてくわしく教えてくれました。どうやら、姉が参加を決めた理由は、姉の友だちがクラスの子に冗談のつもりで言われた心無い言葉にとても傷ついているからというものでした。そして、姉は続けて言いました。

「いじめってさ、本人にそういうつもりがなくても、無意識のうちに加害者になってることもあるんやって。あなたは友だちに嫌なこととか言うてない？」この言葉を聞いてドキリとしました。僕は、その日、3年生になる前の最後の長期休みだということで友だちと遊びに行っていました。しかし、今日僕が友だちに言った言葉は、僕にとってはいつもの冗談のつもりだったけれど、少しきつい言い方だったかもしれません。その日以来、僕は姉の言ったこの言葉が忘れられなくなりました。

僕は、いじめには「目に見えるいじめ」と「目に見えにくいいじめ」がある
とおもっています。そして、SNSが発達してきている今、僕は「目に見えにく
いいじめ」が増えてきていると思うのです。また、友だちに冗談で言われる言葉
が辛いけれど、「このくらいでは、いじめとは言わないよな」と一人で悩み、苦
しんでいる人がいるかもしれません。どこからがいじめに入るのかという「い
じめの定義」は人によってそれぞれ異なります。僕は、どちらかというところ
ス思考なので、友だちの言葉や行動に傷つけられたということはあまりありま
せんが、全員が僕と同じだとは限りません。

いじめは、その人が不快だと思った時点で成立するとも聞いたことがあります。
「このくらいならいじめとは言わない」という言葉を1日でも早く無くした
いです。

また、いじめをなくすためには、無意識のうちに加害者にならないようにす
ることが、必要だと思えます。みなさんは、このようなことを感じたことはな
いでしょうか。「この人苦手だな」「あの人のあの言い方、むかつく」と。僕は
あります。しかし、だからと言って、自分の思ったことをなんでも口に出して
良いわけではありません。場合によれば、いじめにもなりうるからです。言葉
はときに刃物よりも鋭い凶器になるのです。たとえ気ごろの知れた友だち
同士だとしても、相手が嫌な思いをするような言葉遣い、行動は絶対にしない
ようにしていきたいです。どうせ喋るのなら明るく前向きな言葉を使いたいし、
相手を喜ばせることができるような行動をしたいです。どんな場面でも、自分
にできることを見つけて周りの人を助けられるような人に、僕はなりたいです。